文部科学省 情報ひろば 『サイエンスカフェ』

主催：日本学術会議、文部科学省

参加無料です

平成２４年度･第４回サイエンスカフェを､次のとおり開催いたします。
テーマに少しでもご興味がありましたら、お気軽にご参加ください。

日 時　　平成２４年１１月２２日（木）　１９：００～２０：３０
場 所　　文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎１階）
主 催　　日本学術会議、文部科学省
講 師　　今田　高俊さん（日本学術会議会員、東京工業大学大学院社会理工学研究科教授）
ﾌｧｼﾘﾃｰﾀ　天野　春樹さん（日本科学未来館科学コミュニケーター）
テーマ　　「行き場がない原発からの核のゴミ」
定　員　　３０名
参加費　　無料

今年の９月１１日に、日本学術会議は原発からの高レベル放射性廃棄物問題、いわゆる核のゴミの処分についての報告書を原子力委員会に提出しました。その中で日本学術会議は、原発から出る核のゴミを地下深くに廃棄する「地層処分」は難しいとし、抜本的に見直すように提言しました。現時点で、核のゴミの量は、青森県の六ヶ所村をはじめ、全国の原子力発電所のプールに保管されているもの等を総計すると、およそ２万７千本に達します。現状のままだと、あと６年足らずで保管場所は満杯になると言われています。

日本学術会議が「高レベル放射性廃棄物の地層処分は難しい」と判断した理由は何だったのか？ また、今後どのような対応をすべきだと提言しているのか。この報告書をまとめた「高レベル放射性廃棄物の処分に関する検討委員会」の委員長で、東京工業大学大学院教授の今田高俊さんに話を伺い、この問題がいかに深刻であるかを認識すると共に、今後の原発の在りかたについて考える際に避けて通れないことを理解し合うことができればと思っています。